

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは？

睡眠時無呼吸症候群(SAS:Sleep Apnea Syndrome)は、何度も呼吸が止まった状態(無呼吸)や止まりかける状態(低呼吸)が繰り返される病気です。その結果、睡眠が妨げられて日中の眠気を引き起こし、居眠り運転などによる交通事故の原因のひとつとされていることはご存知の方は多いかもしれません。自動車事故のリスクが一般の方に比べ数倍高くなる一方で、繰り返す低酸素血症のために高血圧、心筋梗塞、脳卒中、耐糖能異常などの合併症を引き起こす可能性があることも報告されており、治療せずに放置しておくとも生命に危険が及ぶ場合も有り得る病気です。



いびきは健康状態の
注意信号です！

このような症状はありませんか？

日中の眠気



大きないびき



起床時の頭痛

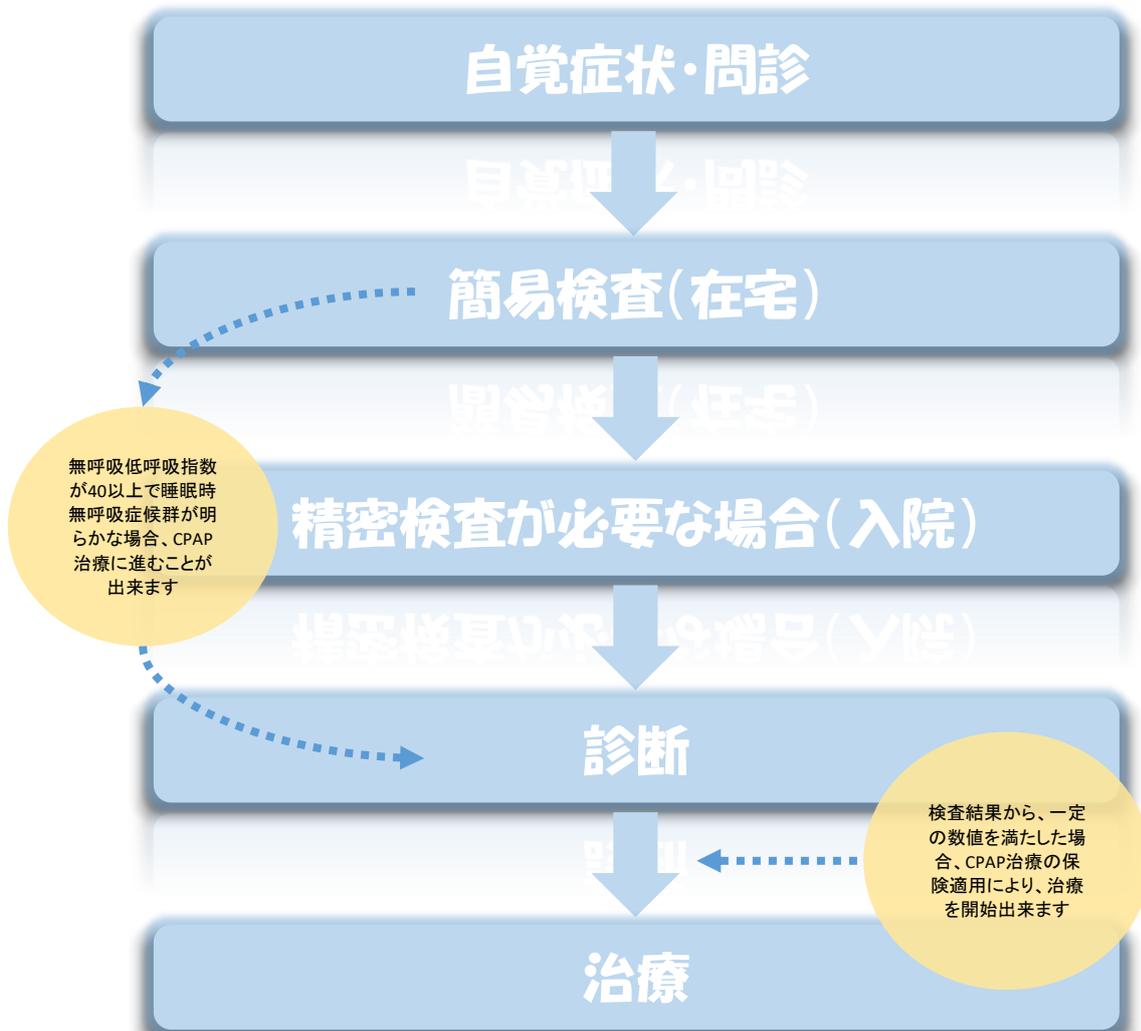


熟睡感がない



もし、このような症状があれば、医師にご相談ください。

検査の流れ



簡易検査

問診より、SASの疑いがあると判断された場合に簡易検査を行い、さらに睡眠状態や呼吸状態をより詳しく把握する必要がある場合には、精密検査を行います。

簡易検査では、酸素飽和度、脈拍や気流、いびき音を測定するセンサーなどを装着し気道の狭窄の程度、呼吸状態を検査します。操作・装着が簡単で在宅に適しています。



簡易装置



簡易検査イメージ

睡眠時無呼吸症候群の治療(CPAP)について

CPAP

Continuous Positive Airway Pressure

(持続陽圧呼吸療法)



CPAP療法とは、睡眠時に鼻マスクを着用し、専用の装置で鼻から気道へと圧力をかけた空気を送り込むことにより上気道を広げ、寝ている間に気道が塞がってしまうことを防ぎ、睡眠時も呼吸が維持されるようにする治療方法です。

CPAPの原理

